

特集1

# メンタルヘルス

社員が病まない「制度」「風土」「人づくり」



# 改革

うつなど心の病で働けなくなる社員が多くの企業で後を絶たない。成果主義による弊害や職場のコミュニケーション不足は、社員のメンタルヘルス不全という状況をもたらしている。経営層は深刻な経営課題ととらえて解決に取り組む必要がある。現状の定量的把握、解決策の立案・実行とその繰り返しが重要。営業や生産現場での課題解決と同様、地道に改善活動を続けよ。社員が病まない「制度」「風土」「人づくり」という3つの観点から、企業がメンタルヘルス改革で成果を上げる道筋に迫った。

上木 貴博 t-ueki@nikkeibp.co.jp

040

武蔵野 小山 昇社長インタビュー

「うちにうつ病になる社員はいない  
コミュニケーションを義務化せよ」

047

コミュニケーション不全がストレスに  
自分の意思を伝え合える「人づくり」  
日立製作所、JTB

042

「制度」を作り、改善サイクルを回せ  
定量的な実態の把握が不可欠  
日産自動車、三井化学

050

業務改善活動ととらえて対処せよ  
社風や企業文化に応じた施策が鍵

045

相談相手は現場の社員  
ボランティア精神が育む助け合う風土  
ソフトバンク

